

## ルワンダ月報（2025年2月）

※以下は、ルワンダ主要メディア（RNA、New Times等）の記事取りまとめ。

### 1. 政治・外交

外交に関し、カガメ大統領（以下「カ」大統領）の主要な動き以下のとおり。

- 1日、コンゴ（民）東部情勢を巡りファイ・セネガル大統領と電話会談を実施。
- 6日、コスタ欧州理事会議長と電話会談し、主要分野におけるEUとルワンダとの協力関係について協議。
- 8日、コンゴ（民）東部情勢を巡りダルエスサラームで開催されたEACとSADCの緊急首脳会合に出席。即時停戦と外国軍の撤退を求める共同声明が採択された。
- 12日、「カ」大統領はドーハを訪問し、サーニー・カタール大統領と会談。
- 14～16日にかけて、第38回AU定例首脳会議に出席するためアディスアベバを訪問。滞在中、グテーレス国連事務総長と会談し、国連とルワンダとのパートナーシップについて協議。また、アビィ・エチオピア首相、ミア・バルバドス首相、チャポ・モザンビーク大統領と会談。
- 23日、ルワンダを訪問していたラミー英外相と会談。その後25日、英は新たな資金援助の停止や貿易促進の制限、ルワンダが主催するイベントへのハイレベルの出席見合わせ等の制裁を発表。右発表に対し、ルワンダ政府は「自国の安全保障と国民の安全を犠牲にするようルワンダに求めるのは不当である」との声明を発表。

コンゴ（民）東部情勢に関し、

- 5日、ンドゥフンギレ外務大臣は露外務省の中東・アフリカ担当副大臣と電話会談を実施。露は、コンゴ（民）における敵対行為の即時停止、武装勢力の撤退、情勢安定化に向けたルワンダ・プロセスでの交渉再開を求めた。
- 19日、ルワンダ外務省は、白との開発協力関係の停止を発表。
- 20日、米はカバレベ国務大臣及びローレンスM23報道官への制裁を発表。
- 28日、カバレベ国務大臣はルワンダを公式訪問中のボルグスタムEU大湖地域担当特使と会談し、「EU加盟国による制裁は、事態の解決になんら繋がらない」と牽制した。

開発協力に関し、アフリカ開発銀行は農村部の電力供給改善のための5,000万米ドルの融資を決定。世界銀行は、教育改革のための7,500万米ドルの追加融資を発表し、EUは農業改革のために1億ユーロの資金提供を決定。

## **2. 経済**

ルワンダ国立銀行は、政策金利を6.5%に据え置くと発表。

## **3. その他**

保健に関し、保健省はユニバーサル・ヘルス・カバレッジの推進に向けた第5次保健セクター戦略計画を発表。同計画は、保健医療従事者の育成、保健インフラの近代化、緊急時の公衆衛生管理等、5つの柱で構成されており、24の戦略目標、44の優先分野を掲げている。

スポーツに関し、3～11日にかけてアフリカ自転車選手権（アフリカ各国から200人以上の選手が参加）、15日にルワンダ国際マラソン（世界20カ国以上から2,000人以上の選手が参加）が開催された。23日から、ツール・ド・ルワンダが開催された（16カ国から135人の選手が参加）。

イベントに関し、9～11日にルワンダ国際ビジネスフォーラム、18日にルワンダ・グリーンエネルギー・サミットが開催され、各国の政府関係者、企業、投資家が参加した。